

G E

N R

Y U



Company Information

COPYRIGHT PERMISSION

COPYRIGHT CONSULTING

SYSTEM PLANNING

DATABASE SEARCH

RE : PRINT

DOCUMENT DELIVERY

AND NEXT...

Message

トップメッセージ

お客様のハートを射抜くような新しいことがやりたい。
そんな思いで設立した会社です。

日常になくはならない存在を目指して

会社名である

「GENRYU」は、水

が沸き出るところを意

味する「源流」のロー

マ字表記です。源流と

いう言葉の通り、湧き

出る新しい視点やアイ

デアを事業に込めつつ、

お客様の日常において

「水」のように当たり

前に、でもなくてはな

らない存在になること

を目指しています。



株式会社GENRYU 代表取締役 社長 千葉裕介

想いを素晴らしい仲間と共有し、実現する会社です

仕事において、一番心が震えるのは、自分の提案であったり受け答えが、明らかにお客様の心に響いた、お客様のハートを射抜いた、という手ごたえを実感する瞬間です。この瞬間は、溢れ出るわくわくが抑えられませんが、そして、どうやってお客様のハートを射抜こうかと考えている時間も大好きです。

お客様の期待をどのように越えようかな、どうすれば驚いてもらえるかなと考えている間は、自分がいたずらっ子になったような気分になります。

そして、あれこれと考えているうちに、その瞬間が来るのを待ちきれなくなります。つまり、いたずらっ子のような笑顔でお客様のハートを射抜きたいんです。

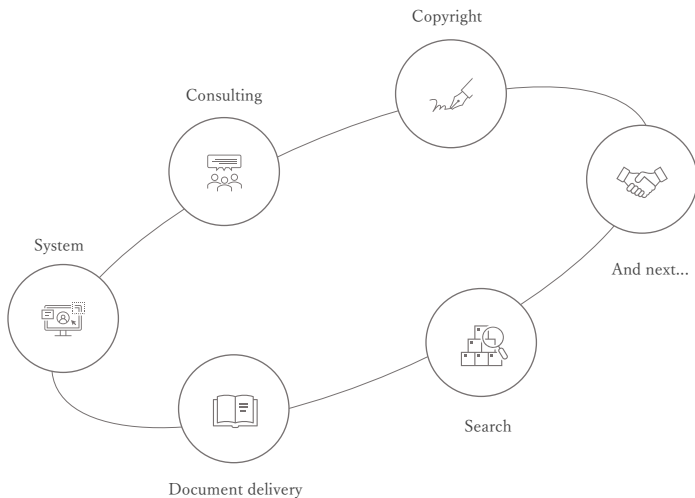
株式会社GENRYUは、著作

権許諾取得や医学情報の入手や検索、データベース構築といった事業をフィールドとして、そのような想いを素晴らしい仲間と共有し、実現する会社です。

Future

私たちにできること

医学薬学情報の収集、著作権対応からデータベース開発支援など医療関係の皆様のご様なお悩みにお応えします。



コンサルティング / 著作権許諾取得 / リプリント(別刷り)入手代行
ドキュメントデリバリー / データベース検索 / SDI検索
システム企画開発・導入 / 学術集会演題リサーチ / 紙文書電子化 著作権相談 / 著作権研修・講演会

CEO Profile

代表プロフィール

千葉裕介 Yusuke Chiba

1979年宮城県生まれ。中央大学文学部（社会情報学コース情報コミュニケーション専攻）卒業後、同大学院に入学。

文学部 社会情報学コース 図書館情報学を学び、在学中、株式会社インフォスタ(旧：株式会社伸樹社)にアルバイト採用され同年正社員に登用。

2020年株式会社インフォスタの副社長に就任。

2022年には株式会社インフォスタを退社。

同年4月株式会社GENRYU代表取締役就任。

株式会社インフォスタ在籍中は、主に、製薬会社向けの医学情報サービスの営業を担当。そのほか、データベースシステム開発や、著作権に関するセミナー講師など16年経験した。



コンサルティング事業

Our Business

お困りではないでしょうか？
こんなことに

Problem

- 社員がそれぞれバラバラに管理している文献をひとつにまとめて整理したい
- 自社の管理方法に沿った文献管理システムを構築したい
- 学会集会の演題から自社の製品に関わる講演だけをピックアップしたい
- 社員教育のために実務に沿った内容で著作権法を知りたい
- 製品のエビデンス提供のために、まとまった部数の文献を入手したい
- そのほか著作権に関する様々な、相談や質問がしたい

特徴

Feature

システム企画開発

IT専門知識がなくても、ご安心ください。専門スタッフが分かりやすい説明でサポートいたします。

お客様が抱える課題を潜在的なものまで掘り下げ、解決策をご提案しながら、希望の要件、仕様をお客様と一緒に検討しながら作り上げていきます。

千葉社長による 著作権相談

「興味深い情報を社内で共有したい」「プレゼンテーションを魅力的に見せたい」こんな時に著作権の問題は発生してしまう傾向にあります。

このような普段の活動における著作権のポイントや基本等をお客様のご要望に合わせて解説したり、ご相談を承ります。

“伴走型” コンサルティング

コンサルティングの究極の目的は、成果を実現することです。

そのために、プロジェクトの準備段階から、立ち上げ、展開、運用、目的達成。そして、その先まで、お客様に寄り添って伴走いたします。

Flow

例：開発プロジェクト進行の流れ



ご相談

ヒアリング
調査・分析
概算費用の提示

構築範囲、スケジュール等をご確認いただき、正式なお見積りを提出させていただきます。



設計・開発

要件定義
基本設計
開発・テスト

経過のご報告・お客様とのレビューなどを行い、開発を進めていきます。



導入支援

システム導入
導入支援

開発したシステムをお客様の環境に導入します。旧システムがあった場合、データの移行もお手伝いします。



運用・保守

システム導入後の変更・機能追加対応

バックアップやシステムの稼働確認などの定期的な運用、またトラブル発生時のサポートなどお客様の日々の運用をご支援いたします。

REPRINT

リプリント/別刷りの購入を代行

出版社のライセンスのもとで作成されるため、複製権処理の必要はありません。価格や納期、必要最低部数は、各出版社によって異なります。論文をご指定のうえ当社までお問い合わせください。

お見積り時の必要情報

論文の書誌事項
部数
表紙の有無
ご希望の納期
カラー印刷または白黒印刷

一般に著作物とはどのようなものを指すのでしょうか？

著作権法によると、著作物とは、「思想または感情を創作的に表現したものであって、文芸、学術、美術または音楽の範囲に属するもの」とであるとされています。

「自分の考えている事や自分の感情を、他人の真似ではなく、自ら工夫して、言葉や文字、形や色、音楽というかたちで表現したもの」この定義にあてはまるものはすべて著作物です。

具体的に著作物には、次のようなものがあります。

- (1) 小説脚本、論文、講演そのほかの言語の著作物
- (2) 音楽の著作物
- (3) 舞踊または無言劇の著作物
- (4) 絵画、版画、彫刻そのほかの美術の著作物
- (5) 建築の著作物
- (6) 地図または学術的な図面、図表、模型そのほかの図形の著作物
- (7) 写真の著作物
- (8) 映画の著作物
- (9) プログラムの著作物

そのほかに、編集著作物、データベースの著作物

例えば、百科事典や雑誌、新聞などは、多くの項目や記事が掲載されており、それぞれの項目や記事に書かれていることは著作物となりますが、百科事典や雑誌、新聞そのものは全体として編集著作物となります。

これは、項目や記事をどのような順番で載せるのか、そもそもどういう項目や記事を載せるのかといったことについて、編集を行う人が創造性を発揮しているからです。

百科事典のほか、新聞、雑誌なども、編集著作物として保護されます。また、編集著作物のうち、その内容をコンピュータによって簡単に検索できるものはデータベースの著作物となります。

「転載」について教えてください

転載とは、引用の範囲を超えて、既存の出版物などから文章や図表等を別の出版物に掲載することです。

著作権法上の言葉のほかに、「ある場所にあった著作物を、元の場所と違う場所に載せる」という意味合いもあります。

転載をする際には、複製権や公衆送信権などの許諾処理を行わなければなりません。

「改変」について教えてください

改変とは、元からあるものに変更を加えることを意味します。

一般的な使い方では、

- ・「内容」を変えること
- ・「見たい目」を変えること
- ・「内容」と「見たい目」の両方をかえること、があり得ます。

著作権法上、著作物の「見たい目」表現形式「見たい目」を変換することは、無断で行ってはいけません。

権利元によっては「改変」が許諾不可の理由になる場合がありますので、注意が必要です。

Creative Commons licenseって何ですか？

クリエイティブコモンズライセンス以下、CCライセンスとは、デジタルの著作物の再利用を推進することを目的とし、作品を公開する権利者が「この条件を守れば私の作品を自由に使って構いません。」という意思表示をするためのツールです。

オープンアクセスとなっている文献は、CCライセンスによって、二次利用に関する意思表示をしている場合が多くあります。

CCライセンスは、次の4つの条件の組み合わせで表示されます。

- ・表示 (BY)
- ・非営利 (NC)
- ・改変禁止 (ND)
- ・継承 (SA)

「表示 (BY)」のみが表示されている場合、出典を明示すれば商用であっても著作権許諾不要で利用できます。

「引用」について教えてください

引用とは、著作権者の許諾なしにその著作物を利用することができますが、引用といえるためには、「引用の目的上、正当な範囲内」で行われるものであり、左記の条件を満たしていなければなりません。

- (1) 公表されている著作物であること
- (2) 公正な慣行に合致すること
- (3) 報道、批評、研究などのための正当な範囲内であること
- (4) 引用部分とそれ以外の部分の「主従関係」が明確であること
- (5) カギ括弧などにより引用部分が明確になっていること
- (6) 引用を行う「必然性」があること
- (7) 「出所の明示」が必要

これらの条件にひとつでも当てはまらない場合は、「引用」ではなく「転載」という扱いとなり、著作権の許諾処理が必要となります。

参考条文…著作権法第17条、第18条

「作図」について教えてください

作図とは、新たに図表を描き起こすことです。

「より作図」という言葉は、元となる資料にはないものを独自に作った、ということを示す場合に使用します。

例えば、論文本文中の数値データからオリジナルの図表を作図する場合、許諾の必要はないと判断をされることが多くあります。

論文本文の内容を抜き出して図や表を作成するような場合は、その実験や研究のデータは、単に客観的な事実を示したにすぎないで創作性はなく、著作物には当たらない。という法律的な解釈が一般的とされています。

但し、原著物に掲載されている図や写真から、新たに図を描き起こす場合は注意が必要です。改変と作図の境界線が明確ではないため、新たに描き起こした図を「作図」であると主張しても、権利者が「改変」であると解釈することがあります。

会社概要

Company Information

商号 株式会社GENRYU
 設立 2021年12月21日
 資本金 50万円
 代表者 千葉裕介
 所在地 〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町28 エクセル神田 2A
 TEL 03-4546-8368
 E-mail mail@genryu.net

お電話やメール、WEBサイトよりお問い合わせやご相談を承っております。

どうぞ、お気軽にお問い合わせください。



WEB SITE OPEN!